

裁判所で活躍する Professional

## 裁判所事務官

*My Pride*

司法を支える仕事をしながら  
自身も成長できること

秋田地方裁判所 裁判所事務官  
佐々木 捺子 (R5採用)

### 略歴

- R5 秋田地方裁判所裁判所事務官 (採用)

意味や根拠を確認し、  
臨機応変な対応が求められる仕事です。

私は現在、秋田地方裁判所民事第1部所属の裁判所事務官として、裁判所書記官を補助する形で民事裁判の運営に関わっています。具体的な仕事の内容としては、当事者や代理人との書面の授受、郵便物の作成や発送、裁判に関わる方々への連絡などで、裁判手続に幅広く携わっています。どの仕事も、機械的に流れ作業のように行う

のではなく、意味や根拠を確認し、状況に応じた臨機応変な対応をすることが求められます。

自分自身の成長を感じることが  
やりがいにつながります。

私は、仕事をしていて自分自身の成長を感じることができたときにやりがいを感じます。法律系の学部出身ではないこともあり、仕事で出てくる言葉が聞きなじみのな



いものばかりで、はじめは裁判手続について理解するのが難しく、急な仕事ができるときにスムーズな対応ができないこともありました。しかし、周りの上司や先輩の指導や助言を受けながら、日々仕事を行っていくうちに、徐々に法律や裁判手続について理解が深まり、できることも増えてきました。任せていただける仕事の幅も広がり、自分が行った業務が裁判手続の運営に関わっているところを見ると、とても達成感を感じます。

### 若手からベテランの方々まで協力して仕事ができる環境です。

上司や先輩は、人に対しては優しく、仕事に対しては厳しくというメリハリのある方々ばかりです。仕事をしていてわからないことがあった時に相談にいくと、私のどんなに小さな疑問にも、根拠を示しながら丁寧にわかるまで教えてくださいます。そのおかげで、私自身も根拠や

目的を調べながら仕事をする習慣が身につきました。誰かと相談しながら仕事をするのは若手職員だけというわけではなく、若手職員からベテランの方々まで互いに意見交換をし、協力しながら仕事ができる職場環境が整っています。これからはさらに経験を積み、尊敬する上司や先輩方に少しでも近づけるように努力し続けていきたいと思っています。そしてゆくゆくは裁判所書記官に任官できるよう、裁判所職員総合研修所の入所試験の勉強にも励んでいきます。



# PRIVATE TIME



休みの日は、友達とご飯を食べに行ったり、お酒を飲んだり、旅行に行ったりとアクティブに過ごしています。去年は夏季休暇を使って韓国に行きました。裁判所は休暇が取りやすいなど、ワークライフバランスが実現しやすい職場なので、休日は自分の好きなことをしてリフレッシュできます。

## SCHEDULE

### 1日のスケジュール

8:30

#### 始業

メール等チェックして、その日やるべきことを確認し、優先順位をつけてから業務に取り掛かります。

9:00

#### 開廷準備

裁判で使用する法廷の開錠や開廷表の掲示、来庁した当事者の方のご案内等を行い、期日の開始をサポートします。



10:30

#### 提出書面の受付

郵便や窓口、mints（民事裁判書類電子提出システム）で提出された書面の受付、点検、記録への編綴を行います。

12:15

#### 昼食

昼食を取り、お茶やコーヒーを飲んでリラックスします。

13:00

#### 郵便物作成・発送

当事者へ発送する郵便物の作成をしたり、発送前の郵便物のチェックをします。

15:30

#### 窓口・電話対応

窓口で代理人と書面の授受を行ったり、電話対応をします。

17:00

#### 終業

次の日にやらなければならないことを確認してメモを作り、退庁します。